

学認LMSサービス利用申請について

2024.6.11

萩野 理恵 (国立情報学研究所 研究データ基盤整備チーム)



- 正式名称：コミュニティサポート by JPCOAR and NII
- NIIの提供する各種サービスの利用申請・JPCOARへの入会を受け付けするシステム
- 登録は参加組織単位（例：図書館、研究所、情報センター、学部等）
 - 1機関で複数の参加組織を登録することが可能
 - 後述の「利用範囲」（p.11参照）とは異なる

<https://community.nii.ac.jp/>

NII 国立情報学研究所
Search... 検索 ログイン

利用案内 お知らせ ミーティング

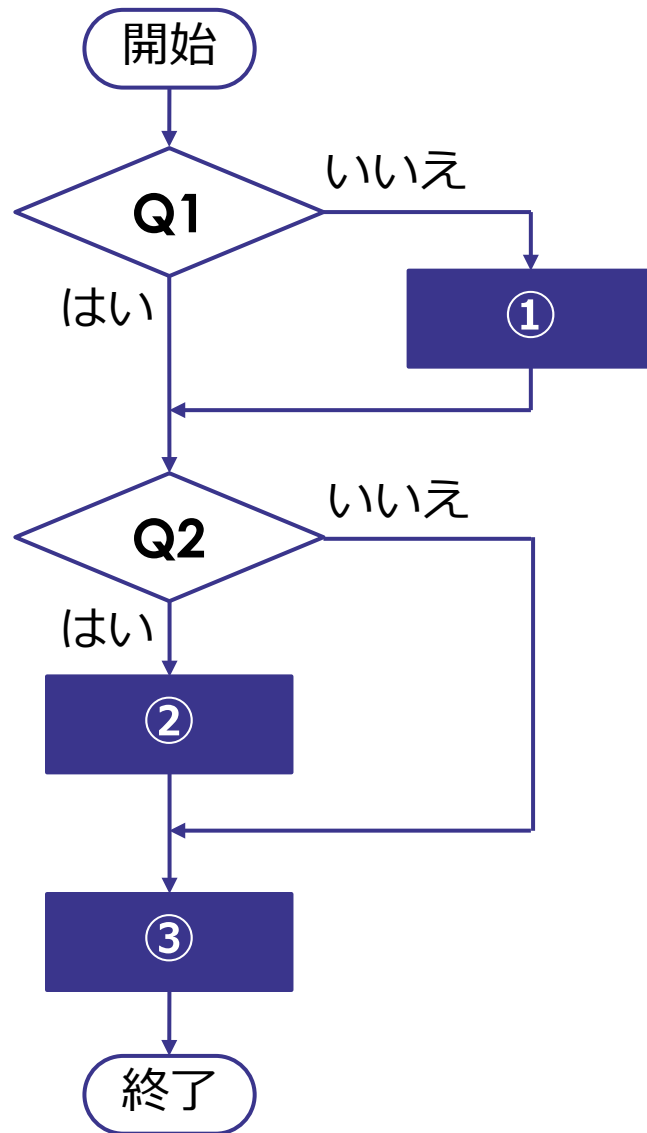
コミュニティサポート by JPCOAR and NII

コミュニティサポート参加組織登録

お知らせ 利用案内

【4月25日更新】JPCOAR会員機関情報の確認及び請求書のオンライン発行について

学認LMS申請
2876ビュー • 2024/03/26 • 知識



Q1 コミュニティサポート参加組織登録はお済みですか？

いいえ⇒ ① コミュニティサポート参加組織登録

申請ごとに事務局で確認して 承認/却下

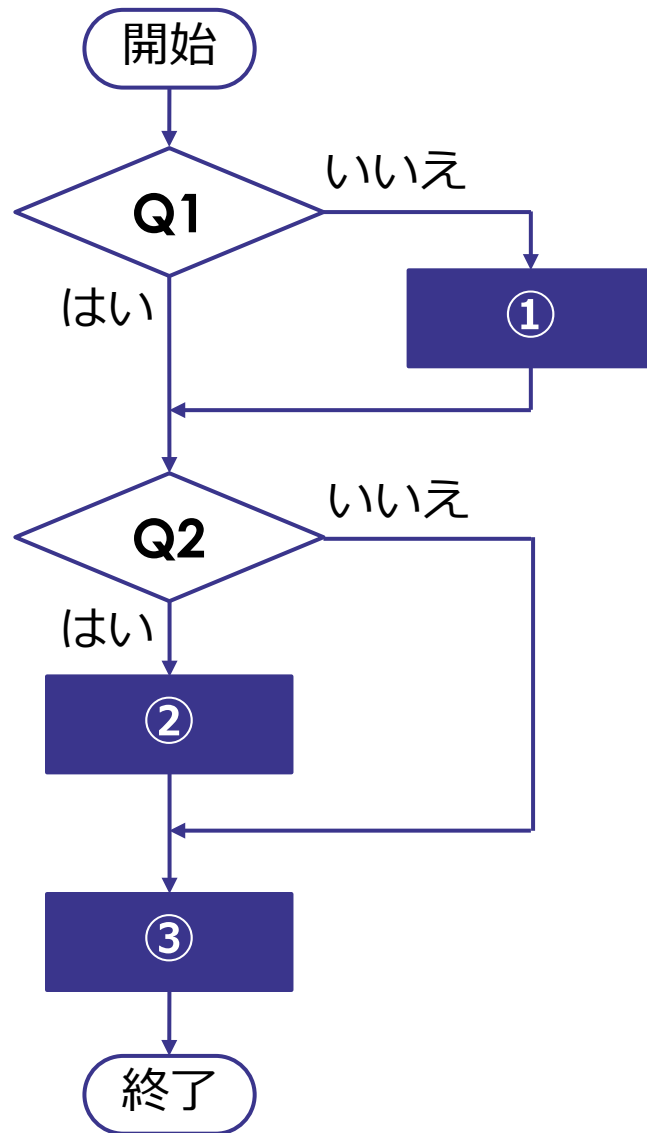
Q2 新たに担当者アカウントが必要ですか？

はい⇒ ② 担当者登録申請（任意）

申請ごとに事務局で確認して 承認/却下

③ 学認LMSサービス利用申請+ 学認LMSオプション申請

学認LMSサービス利用申請は月ごとにとりまとめ翌月に環境を提供
※学認LMSオプションは都度提供



Q1 コミュニティサポート参加組織登録はお済みですか？

いいえ⇒ **① コミュニティサポート参加組織登録**

申請ごとに事務局で確認して 承認/却下

Q2 新たに担当者アカウントが必要ですか？

はい⇒ **② 担当者登録申請（任意）**

申請ごとに事務局で確認して 承認/却下

③ 学認LMSサービス利用申請+ 学認LMSオプション申請

学認LMSサービス利用申請は月ごとにとりまとめ翌月に環境を提供
※学認LMSオプションは都度提供

① コミュニティサポート参加組織登録のポイント

参加組織情報

機関情報をコピーする

* 参加組織名 ^①	情報大学附属図書館
* 参加組織名 (欧文)	Joho University library
* 参加組織名 (ヨミ)	ジョウホウダイガクフソクトショカン
* 郵便番号	101-XXXX
* 住所	東京都千代田区〇〇〇
* 参加組織代表者氏名	千代田花子
* 参加組織代表者職名	図書館長

参加組織名は、申請を管理する単位（部局・部署）で申請をお願いいたします。

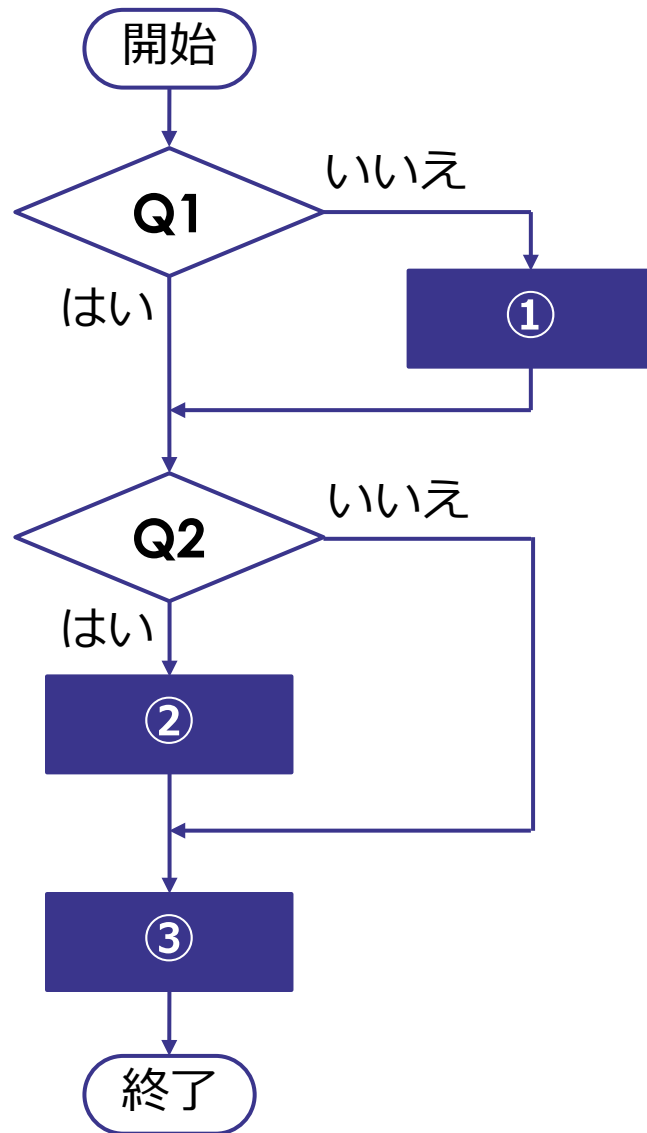
例：情報大学附属図書館

「附属図書館」だけでは申請できませんので、機関名を含めて入力してください。

責任者情報	
* 担当者氏名または担当係名	リポジトリ係
* 担当者所属	付属図書館
* 担当者職名	係長
* 連絡先メールアドレス (担当者ID)	[REDACTED]
* 連絡先電話番号	03-XXX-XXXX

責任者とは

- 各参加組織ごとに1名のみ設定することができる管理者アカウント
- すべてのサービス (※) に対する申請・変更の権限を持つ
 - ※コミュニティサポートでは1つの参加組織で学認LMS以外のサービス (JAIRO Cloud、GakuNin RDMなど) も申請できる
- 担当者の追加を行うことができる
- 後から変更が可能



Q1 コミュニティサポート参加組織登録はお済みですか？

いいえ⇒ ① コミュニティサポート参加組織登録

申請ごとに事務局で確認して 承認/却下

Q2 新たに担当者アカウントが必要ですか？

はい⇒ ② 担当者登録申請（任意）

申請ごとに事務局で確認して 承認/却下

③ 学認LMSサービス利用申請+ 学認LMSオプション申請

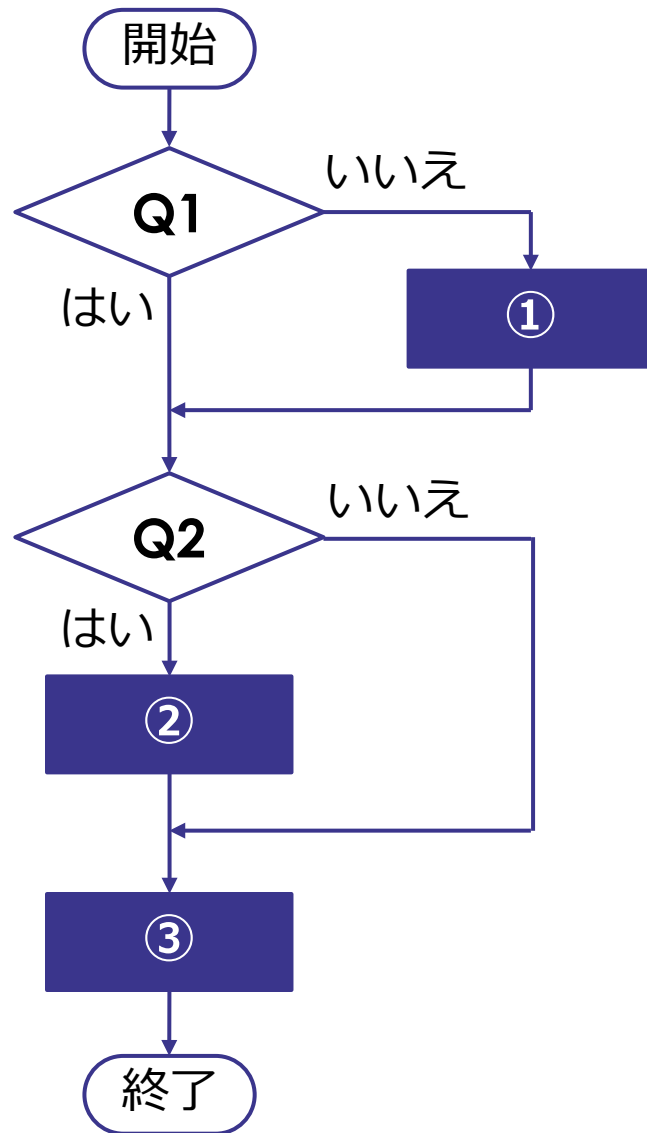
学認LMSサービス利用申請は月ごとにとりまとめ翌月に環境を提供
※学認LMSオプションは都度提供

② 担当者登録申請（任意）

「①コミュニティサポート参加組織登録」で「責任者」のアカウントが発行されます。
新たに「担当者」の申請を行うことが可能

- 責任者： 1参加組織に1つのみ発行される管理者アカウント
 - 「担当者」の申請が可能
 - 「責任者」が「担当者」を兼ねることが可能
 - すべてのサービス（※）に対する申請・変更の権限を持つ
- 担当者： 1参加組織に複数発行することができるアカウント
 - 申請で割り当てられたサービス（※）に対する申請・変更の権限を持つ

※コミュニティサポートでは1つの参加組織で学認LMS以外のサービス（JAIRO Cloud、GakuNin RDMなど）も申請できる



Q1 コミュニティサポート参加組織登録はお済みですか？

いいえ⇒ ① コミュニティサポート参加組織登録

申請ごとに事務局で確認して 承認/却下

Q2 新たに担当者アカウントが必要ですか？

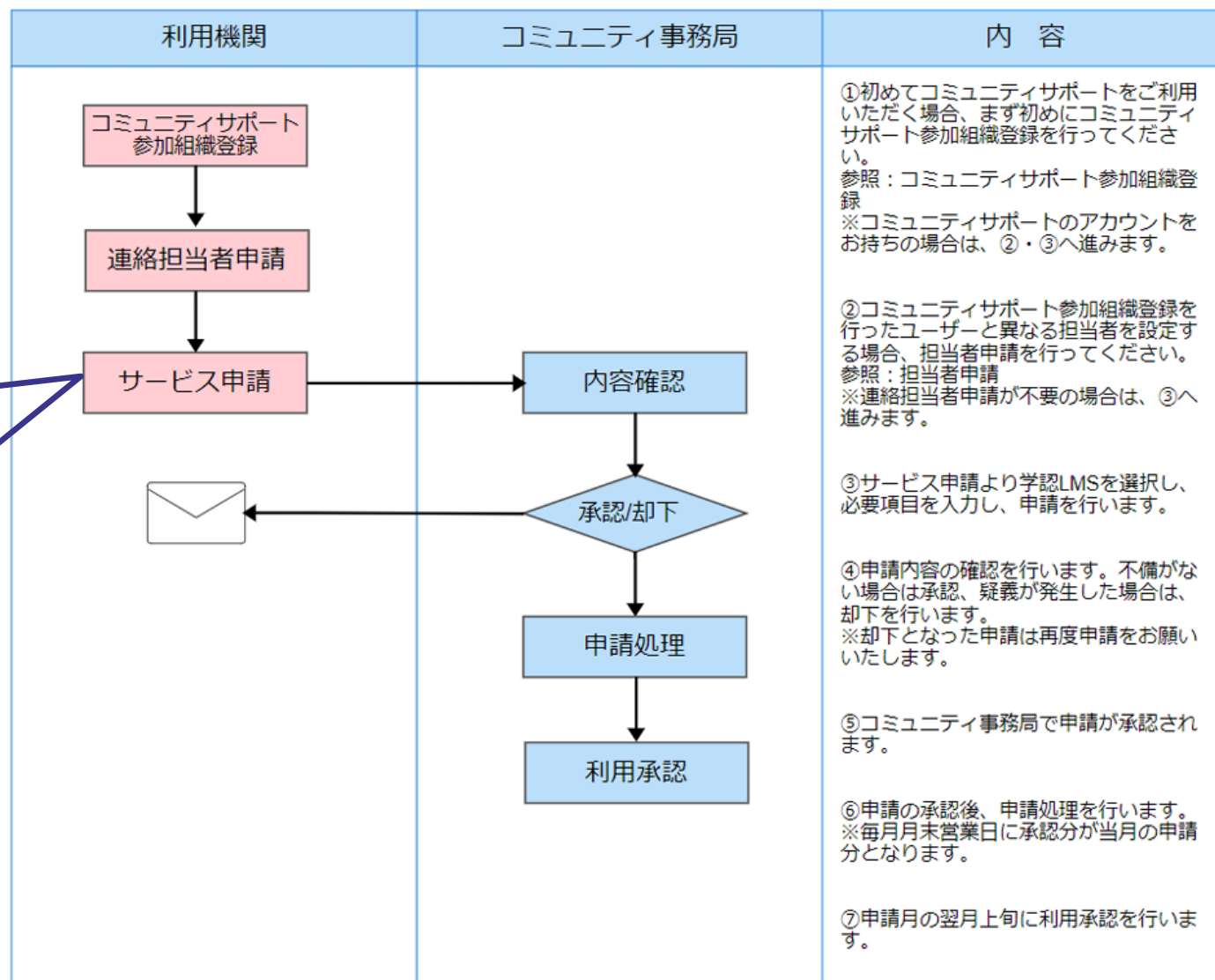
はい⇒ ② 担当者登録申請（任意）

申請ごとに事務局で確認して 承認/却下

③ 学認LMSサービス利用申請+ 学認LMSオプション申請

学認LMSサービス利用申請は月ごとにとりまとめ翌月に環境を提供
※学認LMSオプションは都度提供

③ 学認LMSサービス利用申請の概要



③ 学認LMSサービス利用申請のポイント

利用申請書

* 申請日	2022/07/22
機関名称	情報大学
参加組織名	情報大学
* 利用資格	1. 大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関等
* 利用範囲	全学
* 利用範囲の代表者氏名 ⓘ	情報太郎

「利用範囲」は、申請によって、学認LMSが利用可能になる対象者の範囲を指します。
(機関の構成員全体、特定の部局の所属者のみ、など)

例：「全学」「附属図書館」「〇〇研究科」など

※既出の「参加組織」(p.2参照)とは異なる点にご注意ください。

③ 学認LMSサービス利用申請のポイント

利用申請書

「利用範囲の代表者職名」と「利用範囲の代表者氏名」は利用範囲の長の情報を記入してください。

例：「学長」「附属図書館長」「〇〇研究科長」など

*利用資格	1. 大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関等
*利用範囲	全学
*利用範囲の代表者氏名 ⓘ	情報太郎
*利用範囲の代表者職名 ⓘ	学長

情報届出書

* Shibboleth IdP entityID

* 連絡担当者

連絡担当者を選んでください。



「連絡担当者」は、学認LMSの利用機関窓口となる担当者です。
プルダウンで表示される「責任者」および「担当者」の中から選択します。
「連絡担当者」を追加で設定する場合は「②担当者登録申請」から追加してください。

③ 学認LMSオプション申請

サービス申請

申請にあたっては利用案内をご参照ください。

JPCOAR

JAIRO Cloud

IRDB

JaLC

ERDB-JP

GakuNin RDM

学認LMS

学認LMSオプション

学認LMSオプション

- ・学認LMS申請完了後に申請可能になる追加機能
- ・現在は2つの機能を提供中
 - 情報セキュリティ講座の受講履歴取得機能
 - 研究データ管理講座の受講履歴取得機能

※テスト運用中オプション機能の先行利用については、ユーザサポートサイトをご覧ください。

– https://contents.nii.ac.jp/lms_support/option

③ 学認LMSオプション申請

コース管理者	
*コース管理者	<input type="text" value="情報リポジトリ担当"/>
コース管理者 所属	<input type="text" value="リポジトリ課"/>
コース管理者 職名	<input type="text" value="司書"/>
コース管理者 氏名	<input type="text" value="情報リポジトリ担当"/>
コース管理者 E-mail	<input type="text" value=""/>

学認LMSオプションサービスを利用する場合は「コース管理者」を設定する必要があります。
機能の設定の都合上「コース管理者」は**個人**である必要があります。※

「コース管理者」は、「責任者」および「担当者」の中から選択することになります。

「コース管理者」を追加で設定する場合は「②担当者登録申請」から追加してください。

※ eduPersonPrincipalNameが必要なためです

- ・ 利用申請方法について学認LMSユーザサポートページをご覧ください。
– https://contents.nii.ac.jp/lms_support/organization/join
- ・ 申請いただいた情報に変更が生じた場合、コミュニティサポートから変更申請をお願いします。

ご不明な点はいつでもお気軽にご相談ください

学認LMSサポート担当（国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課）
gakunin-lms-support@nii.ac.jp